

## CASE STUDY

### 高齢者大国・日本

ますます上昇する高齢化率を見据え

## 今、できることとは？



### 愛知県瀬戸市様

瀬戸市役所  
健康福祉部 高齢者福祉課 地域支援係  
管理栄養士 伊藤 里穂 様

日本の高齢化率は、2018年の時点で28.1%（内閣府HPより）に上り、愛知県瀬戸市にも高齢化の波は押し寄せており、2020年には高齢化率が29.7%に達し、半年ごとの集計でもますます高齢化率は上昇。また近年は、ひとり暮らし高齢者増加の問題にも直面しています。そんな瀬戸市は、2020年10月から独居ケアアシスタントを活用した「もーやっこサポート」を全国で初めて導入。瀬戸市役所健康福祉部 伊藤里穂様に、導入の経緯や効果についてお聞きしました。

## アナログなものから新しいものへ

### 時代に即した 高齢者見守りサービスを採用

これまで高齢者見守りサービスとして広く普及していた『緊急通報システム』は、本人が助けが欲しい時にボタンを押すと消防に繋がる固定電話に基づいたシステムでした。しかし近年は、そもそも固定電話自体がないなど、時代や家庭環境の変化が顕著に現れており、設置台数は下降傾向にあります。このまま、このシステムに頼っているのは時代と合っていないのではないかという思いがありました。『アナログなものから新しいものへ』という、**私どもの意識の変化があった時期に知ったのが「もーやっこサポート」**でした。瀬戸市は高齢者だけで住んでらっしゃる世帯が多く、2万6000世帯にも及びます。そのなかの1万世帯弱が独り暮らしで、独居世帯の安否確認を、どのようにすれば円滑に進められるのかというはずと課題でした。**ケアマネジャーや高齢者をサポートする地域包括センターの方々の安否確認作業の負担を軽減する意味でも期待値は高かったです。**

### 実証試験時と 本格導入後の反響

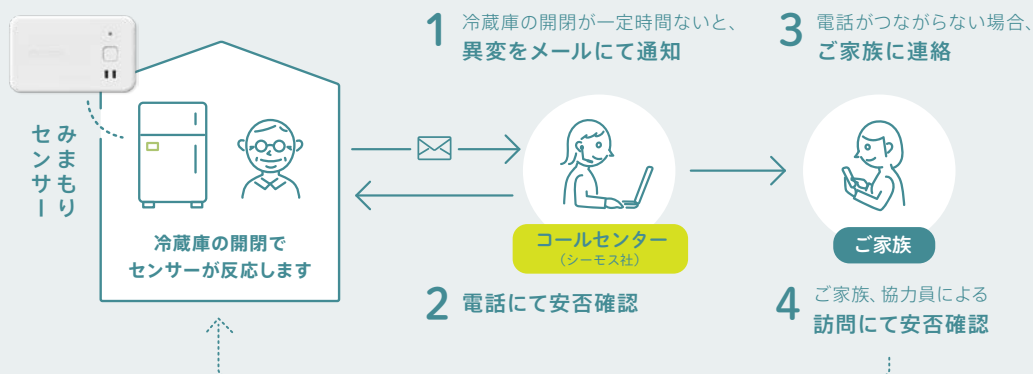
2020年10月の本格導入の前に実証試験を行いました。試験に協力いただいた高齢者からは『監視されているんじゃないか?』と、プライバシーの面で心配する声が上がっていました。もちろん『もーやっこサポート』にカメラやスピーカーなどは付いていませんので、そのような心配はありませんが、このあたりの誤解をきっちり説明し、理解してもらわないといけないことは痛感しました。また、ご家族の方からは『**毎日、様子を見に行くのは大変なので、便利だ**』という声はいただけていました。本格導入の前に課題が見えたので、実証試験はやって良かったと改めて思っています。また、実際にサービスの提供が始まって以降、設置や電話対応のサポートを担っているシーモス様もすぐ丁寧に対応していただいています。高齢者の方へもきめ細かい説明をしていただけており、頼もしいですね。



### 高齢者の自立に向けた 「もーやっこサポート」の活用事例

現在、瀬戸市では高齢者の方が自立できるような支援に力を入れています。“高齢者の自立”に関して『もーやっこサポート』を活用した事例を申し上げますと、1990年から活動する『NPO法人 瀬戸地域福祉を考える会 まごころ』様の活動です。まごころ様は2018年に居住支援法人としての認証を受けられ、高齢者の住居が取り壊しになった場合等に、不動産会社と交渉して住居を確保・斡旋する業務を行っています。不動産会社にとってひとり暮らしの高齢者へ住居を貸し出す際に“孤独死”への懸念がありますが、その懸念に対してのフォローとして、『もーやっこサポート』を推奨していただいています。**ひとり暮らしの高齢者が万が一、体調不良になったとしても素早い対応が可能**ですし、仮に近隣に身内や親類がない場合も、**緊急連絡先にまごころ様が入っていただき、自宅に訪問**するなどの対処をしていただいています。

瀬戸市様で導入した  
もーやっこサポートの  
サービスイメージ



導入にあたって、  
他自治体へのアドバイス



他の自治体でも緊急通報システムはほとんど導入していると思いますが、携帯電話の普及や固定電話の減少など、瀬戸市と状況は同じだと思います。一部例外はありますが、**冷蔵庫はどの家庭にもありますので、導入ハードルが低いことは大きなメリット**ですよね。また、コールセンターによる安否確認ができることで、**近所に家族や親類がいなくても問題がない**ということも推奨できる理由です。月額の利用料金もご家族からのお支払いが可能で、経済面でも利用者へ勧めやすいと思っています。介護の分野は人の力が必要不可欠です。『もーやっこサポート』を導入することで、スタッフの数を最小限に抑えつつ、スタッフ一人ひとりの負担も軽減されとなれば、事業としてはやるべきという判断になるのは必然です。これから導入を検討される自治体は、国からの保険者機能強化推進交付金等も上手に利用しつつ、『もーやっこサポート』を推し進めてほしいですね。

今後の展望はドクターや  
ケアマネジャーとの連携



今後は医療・介護・福祉などの在宅医療に関わる情報を、多職種間でネットワークを介して連携を図る目的で立ち上げた『**電子@連絡帳**』\*を活用してドクターやケアマネジャーともうまく連携していきたいと考えています。冷蔵庫の開閉の状況から、使用する高齢者の健康状態も見えてくる場合があり、そういった細やかな情報まで共有できれば、高齢者が介護サービスを受ける際や、ドクターが薬を処方する際の種類や量などにも役立つと思うのです。高齢者が元気にご自宅で暮らすことができる仕組みを『もーやっこサポート』を上手に活用しながら実現させていきたいと思っています。

\*…<https://www.ijj.ad.jp/biz/e-note/>

瀬戸市様の 見守りサービス導入の決め手

☑ 課題

次世代の高齢者見守りシステムの**導入が急務**  
介護福祉に関わる人の**人材不足、負担増**

☑ 導入効果

**コールセンター対応**により、見守られる高齢者と見守るご家族・自治体も安心  
**居住支援事業**に活用可能

☑ ポイント

充電やメンテナンスの必要がなく、**導入のハードルが低い**  
将来的に冷蔵庫の開閉データを**健康状態の把握に活用**